

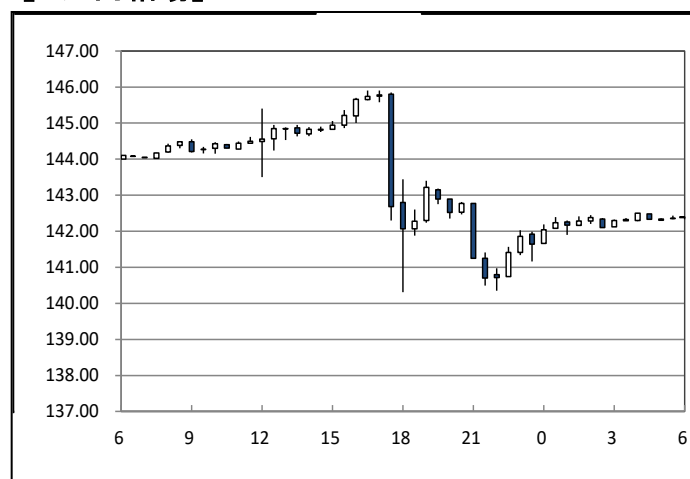
みずほCustomer Desk Report 2022/09/26 号 (As of 2022/09/22)

【昨日の市況概要】

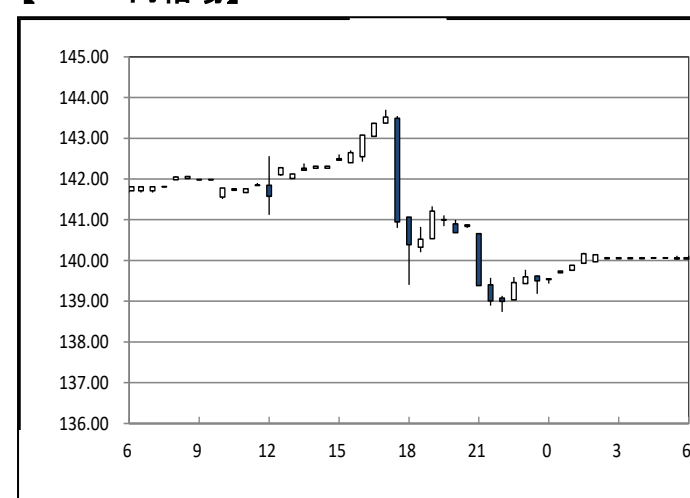
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	144.52 AUD/USD
TKY 9:00AM	144.27	0.9832	141.56	1.1252	0.6612
SYD-NY High	145.90	0.9908	143.70	1.1365	0.6670
SYD-NY Low	140.31	0.9807	138.74	1.1213	0.6574
NY 5:00 PM	142.40	0.9834	140.04	1.1259	0.6642
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,076.68	▲ 107.10	日本2年債	▲0.0700%	▲0.0100%
NASDAQ	11,066.81	▲ 153.39	日本10年債	0.2300%	▲0.0200%
S&P	3,757.99	▲ 31.94	米国2年債	4.1158%	0.0588%
日経平均	27,153.83	▲ 159.30	米国5年債	3.9282%	0.1611%
TOPIX	1,916.12	▲ 4.68	米国10年債	3.7079%	0.1751%
シカゴ日経先物	26,815.00	▲ 210.00	独10年債	1.9750%	0.0860%
ロンドンFT	7,159.52	▲ 78.12	英10年債	3.4855%	0.1760%
DAX	12,531.63	▲ 235.52	豪10年債	-	-
ハンセン指数	18,147.95	▲ 296.67	USDJPY 1M Vol	12.95%	0.19%
上海総合	3,108.91	▲ 8.27	USDJPY 3M Vol	12.44%	▲0.26%
NY金	1,681.10	5.40	USDJPY 6M Vol	11.53%	▲0.32%
WTI	83.49	0.55	USDJPY 1M 25RR	▲1.06%	Yen Call Over
CRB指数	277.85	▲ 0.38	EURJPY 3M Vol	13.04%	▲0.25%
ドルインデックス	111.35	0.71	EURJPY 6M Vol	12.67%	▲0.15%

東京	東京時間は144.27レベルでオープン。144円半ばで推移する中、日銀金融政策決定会合では緩和継続・政策指針も維持する姿勢が示され、日米の金融政策の方向性の違いが意識され、円売り・ドル買いが強まりドル円は24年ぶりの145円台を超え、145.40まで上昇もすぐ143.50まで下落し、午後は144円後半で推移。その後、黒田総裁の会見が意識され、145.21レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.21レベルでオープン。東京時間の終盤で円が売られた流れを引き継ぎ、145.90まで上昇した。その後、日本銀行が円買い・ドル売りの為替介入を実施し、140円台まで円が急反落。安値は140.31となった。しかし、介入の効果は一時的・限定的にとどまる可能性が高く、相場のトレンドを転換させることが困難という見方が広がると市場はドル買い・円売りが再燃し、141円台まで回復。141.25レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	141.25レベルでNYオープン。朝方はNY勢が売りで参入したことから海外時間安値付近の140.35まで下落。しかし、日本が単独で介入する効果は限定的であるとの見方が多いことが円買いを抑制したほか、米金利の上昇がドル買いをサポートし、142円台半ばまで上昇。その後も米財務省が円買い介入に参加しなかったことや日本の行動を理解していることが報じられるも市場の反応は限定的。午後は142円台半ばで方向感無く推移し、結局、142.40レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは0.98台半ばでの上値重い推移でスタートするが、ドル円の急落によるドル売りが波及し一時0.9908まで反発。ドル売り一巡後、0.98台後半でもみ合い、0.9867レベルでNYオープン。朝方はユーロ円の下落に連れ安となり、海外時間安値付近の0.9811まで下落。午後は0.9830付近で小動きとなり、結局、0.9834レベルでクロス。

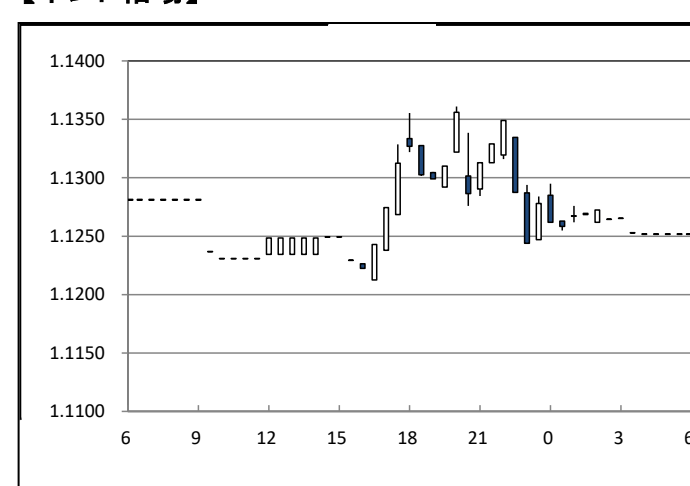
【ドル円相場】



【ユーロ円相場】

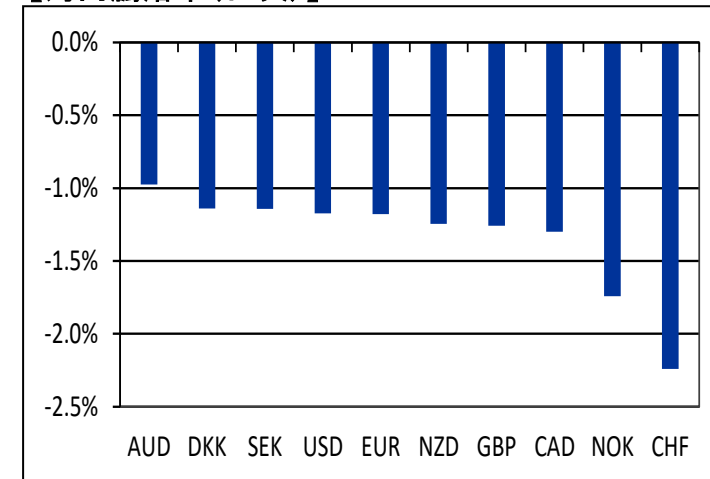


【ポンド相場】

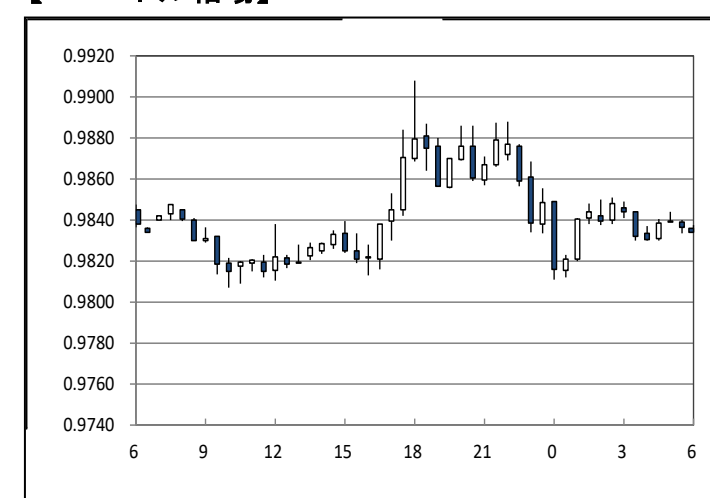


市場営業部 為替営業第二チーム

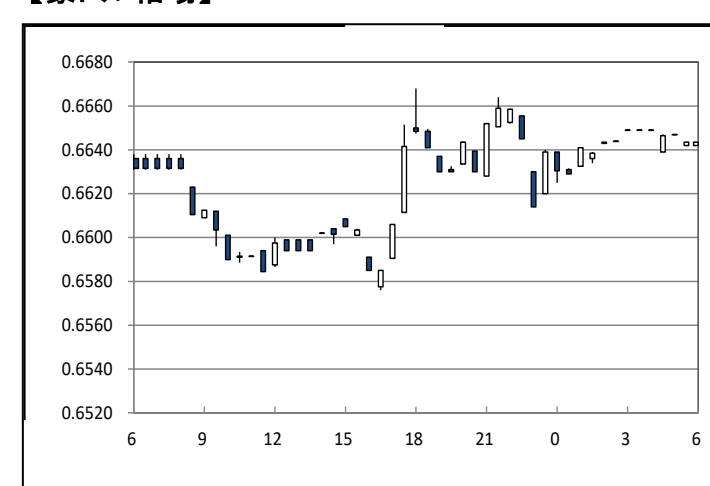
【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。